

卒業生のメッセージ



昨年インドの砂漠を旅した知諒さん

ともあき
関 知諒さん (2022年3月卒業・岩手県花巻市出身)

葛巻高校に入学を決めた理由は、小中学校時代から葛巻町との関わりがあったこと、そして高校生活の3年間を親元を離れて自立したいという思いがあり、葛巻が自分の希望に合致していたからです。高校生活では、硬式野球部の活動や学習にも熱意をもって取り組みました。入学前は、生徒数の少なさからこれらを両立できるか不安もありましたが、部活動では町の野球場を練習施設として使用できたり、熱心な指導をしてくださる顧問の先生方に恵まれたことで、悔いのない活動ができました。学習面では、公営塾の活用や少人数ならではの丁寧な指導を受けることができました。またその他にも、くずまき高原牧場でのインターンシップや、地域のイベントへの参加など、熱意次第で様々な経験ができました。

現在私は大学4年生ですが、年単位の休学を取得し、これから世界中を旅する予定です。



同級生と町の20歳のつどいに参加した知諒さん(左端)



藤田 葵さん (2024年3月卒業・秋田県秋田市出身)

葛巻での日々はいろいろなことに触れ、学び、自分に多くの影響を与えてくれました。同級生や先輩、後輩との共同生活はとて楽しく刺激的でした。食堂でご飯を食べていれば誰かしらが来て一緒に食べ、談話室でテレビを見たり、ずっと喋っていたり。寄宿舎で長い時間を一緒に過ごしてきたからこそ、深い友情を築けたと思います。

葛巻では、高校生の町内の主な移動手段が自転車か徒歩なので、大変なことも多かったです。

しかし、春の山桜や夏のデントコーン(※)畑と星空、秋の紅葉したカラマツ、霜や雪景色など、四季折々の魅力がありどの季節もとても美しかったです。

私は今、大学でデザインや写真について学んでいます。葛巻でたくさんの人と出会い、本物の自然が身近だった自分だからこそ作れる作品を目指して、撮り続けていきたいです。

(※家畜用トウモロコシ)



剣道部時代の葵さん(左端)

Access

■くずまき山村留学生寄宿舎まで

- ▶盛岡駅から
車で約90分
JRバス(白樺号)で 約110分
 - ▶いわて沼宮内駅から
車で 約50分
JRバス(白樺号)で 約60分
- ※JRバスは「グリーンテージ入口」で下車
※見学は葛巻町教育委員会へ事前にご相談下さい。



葛巻高校は
寄宿舎から
徒歩10分!

岩手県立葛巻高等学校に関するお問い合わせ

岩手県立葛巻高等学校

〒028-5402 岩手県岩手郡葛巻町葛巻5-178-1
TEL 0195-66-2624(事務室)・2253(職員室)
E-MAIL kuz-h@iwate-ed.jp
WEB <http://www2.iwate-ed.jp/kuz-h/>



くずまき山村留学に関するお問い合わせ

見学・問い合わせ
お待ちしております!

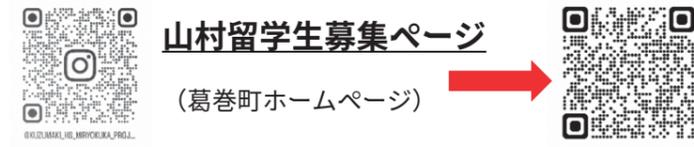


葛巻町教育委員会事務局

〒028-5495 岩手県岩手郡葛巻町葛巻16-1-1
TEL 0195-66-2111
E-MAIL kuzumaki0909@town.kuzumaki.lg.jp
WEB <https://www.town.kuzumaki.lg.jp>

山村留学生募集ページ

(葛巻町ホームページ)



山村留学という選択。

くずまき 岩手県立葛巻高等学校



撮影場所：くずまき高原牧場

令和8年度入学生(第12期生)

入学案内

応募受付10/1~31 ※予定

北緯40度 岩手県 くずまき
ミルクとワインとクリーンエネルギーの町



葛巻町は、平成27年度から、岩手県で初めて山村留学生の受け入れを始めました。

山村留学生は、葛巻高等学校の教育課程に加え、希望に応じて町が取り組んでいるさまざまな体験活動に参加できます。また、町は、高校生が地域と交わる機会を積極的に設けています。

多様な価値観や生き方に触れ、実社会とのつながりを体感することで、自ら学ぶ意欲を高めます。親元を離れる山村留学は、生活そのものが学びと体験となります。豊かな自然の中でじっくりと自分と向き合い、学習と体験を通して、葛巻町で青春しませんか。



くずまき山村留学について

葛巻町では、3年間の高校生活が充実したものになるよう、さまざまなサポートを行っています。

★くずまき山村留学生寄宿舎

学校から徒歩約10分の位置にあります。2人部屋で他者への配慮やコミュニケーション力を育むとともに、自主性を養い、自立を目指します。専任のスタッフが常勤し、生活をサポートします。

【寄宿舎使用料 ※令和7年度】

県外生月額(食事付) **20,000円**

県内生月額(食事付) **30,000円**

★葛巻町学習塾

町が設置する葛巻高校生のための学習塾(無料)高校と連携し、生徒の進路の実現を手厚くサポートします。

★制服購入費助成

入学時の制服購入費を町が助成します。
(男子50,000円、女子60,000円 ※令和7年度)

★学校給食

町の給食センターから学校給食(副食)を提供します。
山村留学生の給食費は寄宿舎料に含まれています。
また、牛乳は町産業振興協議会から無料で提供されます。

★多様な体験と地域交流

酪農や山ブドウ栽培などの体験活動のほか新エネルギーの学習などに参加することができます。

■留学生受け入れの状況

| | | | |
|--------|-----|-------|-----|
| 平成27年度 | 1名 | 令和2年度 | 16名 |
| 平成28年度 | 2名 | 令和3年度 | 10名 |
| 平成29年度 | 3名 | 令和4年度 | 12名 |
| 平成30年度 | 3名 | 令和5年度 | 6名 |
| 令和元年度 | 11名 | 令和6年度 | 13名 |

令和7年度 15名
(令和7年度入学生出身地：東京都、神奈川県、茨城県、和歌山県、福島県、宮城県、秋田県、岩手県)



ひゅうま
大杉飛有馬さん(1年生)
宮城県仙台市出身

一人で飛び込んだ葛巻で不安や戸惑いもあったけど、気付けば寄宿舎で夕食を囲み、笑い合い、支え合える家族のような仲間と出会うことができました。この仲間と励まし合いながら、一つ一つ壁を乗り越えていきたいです。葛巻での出会いと時間は、一生の宝物になると思います。

こな
阿部心菜さん(1年生)
東京都江戸川区出身

葛巻町に来て変化したことは、自立した生活ができるようになってきたことです。親の助けなく、自分で考えて行動することが多くなりました。葛巻では都会にはない自然にたくさん触れられます。まだ始まったばかりですが毎日充実しています。



自分を磨く、地域での活動

葛巻高校生は、学校活動と学校活動以外で町の特徴である酪農や特産品製造、クリーンエネルギーの取り組みなどを学ぶことができます。様々な立場の人と交流し、協働の精神を学びながら友情や絆を育みます。
※ 学校活動以外は主に休日等に活動します。

- ①総合的な探究の授業での町内フィールドワーク
牧場・ワイン工場・風力発電施設などの見学、ワークショップ、起業家講演、町内企業ガイダンス、グループ研究、報告会など
- ②地域系部活動への参加
地域の若者と協働した地域づくり活動など
- ③まちなかイベント、くずまき秋まつり等への参加
- ④酪農体験
- ⑤留学生募集活動
ポスターなどの写真撮影、募集イベント参加、見学者への寄宿舎生活の紹介など



「くずまき秋まつり」参加

学校情報

岩手県立葛巻高等学校(全日制普通科 定員80名)

- ・2年次からのコース編成(進学/就職)で、希望する進路に沿ったきめ細やかな指導が魅力です。
- ・文化部では郷土芸能部が神楽甲子園に出演、運動部では陸上競技部がインターハイに出場経験があるなど優れた成績を残し、活躍が光ります。
- ・令和7年2月、「第17回キャリア教育優良学校文部科学大臣表彰」を受賞しました。



生徒会行事「クラスマッチ」

郷土芸能部

寄宿舎での協働生活

葛巻高等学校にほど近い、町運動公園の敷地内に寄宿舎があります。

全館冷暖房、Wi-Fi完備。1階男子棟、2階女子棟、2人1部屋で全16室。各階に学習室(8席)を設け、談話室を兼ねた食堂には生徒が自由に使えるミニキッチンも備えています。

食事は毎日3食(登校日は給食)提供されます。



女子談話室



学習室



居室



ミニキッチン



食堂/談話室

地域系部活動・「ばず部」

「ばず部」とは、町主体の地域づくり活動で、葛巻を愛してやまない地域の若者と葛巻高校生たちが、町の活性化や情報発信を実施する特別活動です。Buzzとは「蜂がぶんぶん飛び回る音」という意味で、人の口から口へと伝えていく口コミマーケティングのことを指します。高校生の活躍で、地域をバズさせます。

※ まちづくり事業の一環で、葛巻高校と町役場が協働しています。

公営塾「葛巻町学習塾」

葛巻高校の敷地内にある公営塾「葛巻町学習塾」を無料で利用できます。

【葛巻町学習塾3つのコンセプト】

- ・自学自習力の育成
- ・学校の授業の補習・復習
- ・家庭学習の習慣づけ

